

区民と区長のタウンミーティング概要

日 時	令和3年12月23日(木) 18時30分から20時
会 場	区役所7階 第8~10会議室
テ ー マ	令和4年度予算で検討中の主な取り組み(案)
出席者 区 民	計 20 人 (男性 11 人、女性 9 人)
区 側	区長、教育長、各部長、企画課長、財政課長
一 時 保 育	無
手 話 通 訳	無

区民と区長のタウンミーティング内容

テーマ：令和4年度予算で検討中の主な取り組み（案）

会場（区役所7階 第8～10会議室） 令和3年12月23日

区長あいさつ	
<p>中野区では昨年度に改定した基本構想を実現するため、今年度に基本計画を策定した。令和4年度予算は基本計画に基づく初めての予算であり、基本計画で掲げた取り組みに重点的に予算を付けている。 また昨今の新型コロナウイルス感染拡大の影響を踏まえ、特に子ども達の失われた経験を取り戻すための取り組みにも重点を置いている。来年度の予算編成や、普段の区政へ思うことについて、ご意見をいただきたい。</p>	
区民の意見・質問	区長の回答等
<p>商店街で商売を行っており、商店街の役割は非常に重要だと認識しているが、商店街に対し相談を申し入れても難しい部分もある。 個店は商店街との繋がりを持つことで安心感も生まれると思う。商店街でもっと相談を受けてもらえるよう改善を求める。</p>	<p>商店街連合会に対して、相談を受けてもらえるよう、必要であれば区からも要請していきたい。</p>
<p>障害児の就学について、普通学級に通うことで地域とのつながりや子ども同士の成長につながるかと考えているが、一方で親としては心配もある。また、学校施設について、ハード面で障害児への配慮も考えてほしいと思う。こうしたことへの区への対応について教えてほしい。</p>	<p>教育委員会では、障害のある子どもの就学先についてお悩みの方に対して、就学相談を行っている。そこでは、子どもの状態だけでなく、親の心配も大切に受け止め、心配や不安に寄り添った相談するよう努めているところである。 また、学校施設については、環境改善のための改修や校舎の改築を進める中で、トイレの設備やフロア間の移動など、バリアフリーに配慮した整備を行っているところであるが、ご心配がある場合については、個別にご相談いただきたい。</p>
<p>就学相談について、相談をしても一定の年齢にならないとわからないということも多く、話してスッキリする程度になってしまう。仕方ない部分もあるが具体的な解決に向けた相談となるようにしてほしい。 通学区域について、入学する学校よりも家から近い学校があるという状況や、小学校の通学区域を変更したとしても結局中学校では遠い場所への通学をしなければならないということがある。中学校の通学区域変更は難しいと認識しているが、通学することとなる小学校と中学校をセットで考えられるようにしてほしい。</p>	<p>子どもの状況は短期間で変化するため、就学相談の対象は翌年4月に小・中学校に就学するお子さんの保護者を対象としている。今後、就学についての情報提供をすこやか福祉センター等相談機関へ積極的にを行い、より充実した相談ができるようにしていく。 通学区域の変更については、小学校では家から学校までの距離が遠い場合は可能であるが、中学校への進学を見据えた相談ができるようにしていく。</p>
<p>区立図書館について、施設を集約していくことは大事であると思うが、空白地域が生じており、本を借りることだけでなく返却することも難しくなっている。区民活動センターを活用したり、返却ボックスを設置するなどの対応をお願いしたい。</p>	<p>今後の図書館サービスについては、構造改革の取組でも取り上げており、利便性の向上に向けて引き続き検討を進めていく。</p>
<p>コロナ禍での教育について、公立と私立で学習用タブレットの活用状況の違いなどにより学力に差が生じていると思う。公立学校に通う児童・生徒の学力向上のため、補習などの取組をしてはどうか。</p>	<p>学習用タブレットを活用している状況としては、資料提示をした際、従前よりも多くの質問が出るような傾向にあり、児童・生徒の学習意欲の向上に影響を与えていると考えている。 区で配置している講師による補習も今後実施していく予定であり、タブレットの活用と対面授業を併せて行うことで、より質の高い教育を目指していく。</p>
<p>学校に行った際、先生が子どもをきつくと叱る光景を目にした。先生の業務負担が大きいことで、そのような状況になってしまっているのではないかと思う。支援員を配置し、先生の負担軽減を図ってほしい。 保育所等訪問支援について、利用したいと思ったが担任からは制度を知らないと言われた。当該事業に対する学校側の理解が足りていないのかなと思うが、マニュアルなど一定の形式で学校側への周知をしてほしい。</p>	<p>支援員については、教員一人ひとりに対し配置することは難しいが、状況に応じて配置している場合もある。予算に限りがある中ではあるが、学校の状況を踏まえて対応していく。 保育所等訪問支援や放課後デイサービス等、児童福祉法に基づくサービスについて、区立小中学校への周知を行っている。</p>
<p>スポーツ団体が少ないと思うので、子どもを安心して預けられるスポーツ団体があれば良い。</p>	<p>スポーツ団体としては、地域スポーツクラブというものがおり、キリンレモンスポーツセンターでは、指定管理により企業が運営し、子ども向けのイベントやヨガ教室等を実施している。ホームページ上にスポーツ団体に関する情報を載せているので、参考にしてほしい。</p>
<p>民生委員や地域での見守り活動をしたかったが、地域活動に参加しにくい状況であると感じた。</p>	<p>地域活動に参加しにくい状況があることについて理解した。民生委員や見守り活動以外にも、ボランティア活動や社会福祉協議会の活動など、さまざまな選択肢があるため、是非活動してほしい。</p>
<p>新庁舎建設が進んでおり、中野区も民間事業者を活用した委託が必要になってくると思うが、民間委託にあたっては、費用と品質のバランスが重要である。中野区のプロポーザルは、業者側からの意見としては、品質をアピールしにくい状況にある。例えば、区からアピールする項目が決められていたり、事業者としてアピールしたい事項については、10ページの資料でまとめるよう決められているため、事業者としては十分にアピールできない。</p>	<p>品質と仕様を定めて、工夫していくことが契約の課題である。区では、配点方法を見直すなど、日々、民間事業者の品質を保つ工夫をしている。また、調達方法として、サウンディング調査を実施し、民間事業者からの提案を踏まえて仕様に盛り込む取り組みを実施しているところである。</p>
<p>電子書籍の貸し出しに力を入れてほしい。</p>	<p>電子書籍の需要が増えてきている状況を把握しているので、今後検討していきたい。</p>
<p>中野区は比較的CO2排出量が少ないとのことだが、生産や運搬は中野区外で行われており、我々都市住民は消費生活しかしていないので、せめてサプライチェーンで何が起きているのかを知って、その中でCO2の少ない選択をするべきだと思う。そういった視点もゼロカーボンシティ宣言の中に入れてほしいと思う。</p>	<p>中野区は住宅地が多いので、中野区が排出しているCO2は周りに比べて少なくても、消費生活の中でもCO2は発生している。それをどう削減していくかについて、皆さんとともに頑張っていきたい。ゼロカーボンシティ宣言を行ったところであるが、今後様々な取り組みを区民にPRしていきたい。</p>
<p>包装材が多いことでプラごみが多くなっているの、住民ではなく事業者へ指導した方が良いと思う。事業者への指導は国がやっているとのことだが、国は企業に気を遣い、そういった指導は行わないと思うし、現にプラごみは溢れている。区長会等でプラごみ削減を要望してほしい。スーパーのトレイ廃止はすぐにはできないことだと思うので、改善に取り組んでほしい。</p>	<p>区内事業者への呼びかけ等、区でやれることをやっていきたい。区民の皆さんがプラごみ削減に向けた意識を持つことで、トレイに乗っているものは売りにくいということがPRできれば、事業者の行動も変わってくると思うので、大事だと思う。</p>
<p>週に1回プラごみをまとめて出しているが、それがどこに行っているのか気になる。中野区が委託している業者がその先どうしているかということまでしっかり見てほしい。</p>	<p>現在は、異物選別後リサイクル原料として再生利用され、最終的には椅子などの製品プラスチック等になっている。区はその仕組みは把握しているが、新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり、実際に現場を見に行っているわけではないので、状況に応じて区民の皆さんにお知らせしていければと思う。出す時も出やすく、再生利用しやすいものを国で検討を進めているので、区でもしっかり対応していきたい。プラスチックの再生利用については、膨大な経費がかかる。区によってはすべて燃やしている区もあるが、中野区としてはリサイクルすることによってやっているの、とくに削減していきたい。</p>
<p>高断熱窓・ドア助成制度の範囲を教えてください。</p>	<p>ゼロカーボンシティを目指すために、家庭での省エネを実践してもらうため、来年度からこの助成制度を始める。今後ホームページ等でもPRするし、年度末には確定するので、興味があれば是非担当部署へ問い合わせいただければと思う。東京都にも助成制度があるので、区の助成制度と併用して活用いただければと思う。</p>
<p>羽田新ルートについて、夏の間はかなりの騒音だった。住民の生活の質を下げてまで、このルートを飛ばす必要があるのか非常に疑問である。渋谷区や大田区でも同じ問題を抱えていると思うので、一緒に声をあげて、理不尽な飛ばし方をやめさせるなり、少なくとも飛ばさず飛ばさずしてほしい。</p>	<p>今は飛行機の便数が少ないが、今後についても飛行機の騒音の測定値も踏まえながら、区としてやれることをやっていきたい。</p>

区民の意見・質問	区長の回答等
<p>中野区の道路は狭い。無電柱化を推進すれば、道路が拡幅され、車両と歩行者がともに通りやすくなるはずである。またその際には、子どもの通学路など危険性があると考えられる箇所については、警察等とも連携し、取り締まりを強化してもらうなど、歩行者の安全性の確保と通行の利便性の向上の両立を図っていただきたい。総論として、可能な限りお金をかけず、工夫をすることで区民の生活環境をよりよくしていただきたい。</p>	<p>最小の経費で最大の効果を挙げることは区の責務である。無電柱化整備事業については、実現すれば道路の幅員は確保できるが、一方で、無電柱化は難易度が高く、かつ、コストのかかる事業でもある。中野区においては狭い道路も多く、埋設管が複雑している路線もあり、技術的な問題により、整備を白紙に戻さざるを得なくなった路線もあった。継続して、最小の経費で最大の効果を挙げるべく、取り組んで参りたい。</p>
<p>区立公園の整備においては、インクルーシブ遊具を積極的に導入してほしい。</p>	<p>一部公園について、だれもが遊べる遊具を導入しているところであるが、今後整備を予定している公園についても、導入を検討していきたい。</p>
<p>鷲宮六丁目の周辺の道路については、ベビーカーで通行しづらい道路が散見される。場合によっては、車道を通行しなければいけない場合もある。道路の整備を行うことで、歩道の安全性を確保してほしい。</p>	<p>当該地域については、駅周辺を中心に、整備を進めているところであるが、歩行者の安全性の確保については、課題として認識しているところである。なお、駅周辺のまちづくりを進めていく際には、安全性にも配慮しながら検討を進めていきたい。</p>
<p>マイナンバーカードの手続きの際に、暗証番号を書いた紙の扱いがずさんだった。暗証番号が周囲にわからないように隠す等の工夫をしてほしい。</p>	<p>区民の方が安心して手続きできるよう、対応策を検討する。</p>
<p>中野区は安全・安心なまちというが、そうではないと思う。たとえば、なかのZEROの付近の道路は狭く、通行量も多いため、安全とは言いがたい。もみじ山通りの立橋の下は薄暗いせいいか、道路が汚れている。安全・安心で住み続けたい持続可能なまちの実現のために、取り組んでいただきたい。</p>	<p>もみじ山通りの陸橋下の清掃について、現状を確認し、より良い管理体制について、検討する。</p>